

京都自民党のお約束

決断と 実行

京都の暮らしを守る。



1 ポスト・コロナ社会の形成に向けて

岸田総裁の目指す『新しい資本主義』とは、今までの市場原理主義のように、単なる行政の効率化を目指し、民間委託を増やすものではありません。

これまでの、いわゆる新自由主義経済と呼ばれていたものが、その弊害として「都市と地方」、「富める者と貧しい者」との格差を広げ、社会を分断してしまいました。

ここで再び日本全体が一つとなって協調し合える社会をつくる、それが、『新しい資本主義』です。

たとえば、行政主導でデジタル化やAIなどの最新技術のインフラを日本全国に広げることにより、都市と地方が同じように、むしろ地方の方がそうしたデジタルインフラを使って住みやすい街を作ることができるのです。

そうすることにより、「都市と地方」の分断を無くし、ともに栄え合い助け合う日本をつくりまします。

具体例の一つとして、新幹線ネットワークを広げ、都市間交通を充実させます。そして、新幹線の駅からそれぞれの地域には、自動運転などの新しい交通体系インフラを整備することにより、過疎地域でも都市部に負けない生活が可能となります。

この様な最新技術を地方に生かすこと等により、国土の均衡ある発展を目指します。それが、『新しい資本主義』であり、「デジタル田園都市国家構想」なのです。

自民党に絶大なご支援を賜り、ともに新しい社会をつくっていきましょう。

自由民主党京都府支部連合会
会長 西田 昌司

- 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、また、新たな感染症等も見据え、臨機応変かつスピード感を持った防止対策やワクチン接種体制の充実に努めます。
- 感染症陽性者に対しては、保健所機能の合理的かつ柔軟な体制構築により、真に必要な検査や治療を行えるようにするとともに、諸地域医療機関との連携による病床確保など、安定した府域医療体制の整備を進めます。
- コロナ禍により大きな影響を受けている府民の暮らしを支えるため、セーフティネット対策や居場所づくりを充実させて、ともに支え合う地域共生社会づくりを推進します。
- コロナ禍拡大の影響による消費行動の変化やインバウンド需要の激減等で冷え込んだ農林水産物・加工品の輸出などによる、消費拡大やセーフティネット対策等を進めます。
- これまでの長期にわたるコロナ禍や原油価格・物価高騰等による影響を踏まえて、観光業や飲食業他、各種産業における中小・地域企業の事業継続や再生を支えるため、金融・経営の両面が一体となった支援を強化します。
- ポストコロナ社会を見据えた新しい学習支援システムの導入を進めるとともに、「大学のまち 京都」として、各大学の特性を活かし、大学生が安心して学び続けられる教育環境を整えます。
- 緊急小口資金の特例貸付の償還免除要件の周知・相談支援や、ゼロゼロ融資等の債務の減免により、事業再生・再チャレンジを支援します。

2 本格的な成長戦略を目指して

- 京都経済を本格的な成長軌道に乗せ、中小・地域企業をはじめとする賃金の引き上げを実現し、家計に景気回復が実感できるよう取り組みます。
- 全産業の共通課題である脱炭素社会の実現に資するグリーン産業やイノベーションなど、社会と時代が要請する次世代産業の育成を進めます。
- GoToトラベルキャンペーンの再開や、民泊整備によるオーバーツーリズムへの対処など観光業支援に取り組みます。
- 「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」を基本コンセプトに京都市の「とっておきの京都」をはじめ、府全域の市町村連携による持続可能な京都観光を進め、観光を入口とした地域振興と発展を目指します。
- 環境、資源・エネルギー、安心・安全、健康医療、福祉、教育、農業などの分野でのいわゆる「知恵ビジネス」の創出と、全分野におけるソサエティ5.0、IoT、AI、自動運転技術等も含む先端テクノロジーのさらなる進化・応用を支援し、デジタル社会の実現を推進します。

- 仕入れや流通・販売手法等の構造改革や高付加価値商品の開発を支援し、伝統産業の魅力づくりを進めます。
- 京都における健康・医療分野の先端技術や伝統文化、芸術・歴史・食など、世界に誇る文化を生かした経済の活性化を実現し、「大阪・関西万博」を契機として、京都から近畿圏・日本全国を元気にします。
- 地方創生におけるSDGsの理念に則り、真に持続可能な発展目標と、誰一人取り残さない地域間格差や経済格差の解消を進めます。
- 公共事業の安定的・継続的な府内発注を推進し、働き方改革やDX等による生産性の向上により、建設関連産業の人材確保・育成を図り、地域の安全安心を守る裾野の広い建設関連全般の育成に努めます。
- 女性や若者、障害のある方もない方も、誰もが主体的に参画できる環境を整え、包括的で多様な人材が活躍できる社会づくりを進めます。
- 65歳を超えても働き続けられる地域社会の構築と、それにとまなう安定的な社会保障の制度設計を進めます。



3 京都の都市格を高め、日本海国土軸の形成を進める

社会インフラの整備

- 東京一極集中の是正と近畿圏における首都機能の双眼化を図るべく、文化庁の京都移転を契機として「双京構想」の実現を目指して、オール京都体制で取り組みます。
- 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）の円滑な整備の推進をはじめ、山陰新幹線・関空新幹線の実現や、空港（関西・伊丹等）へのアクセス強化、山陰近畿自動車道の整備促進、JR山陰本線・奈良線・片町線や関西本線などの全複線化目標など、府民の健全な生活と福祉・産業に欠かすことのできない重要な基幹インフラである鉄道等交通網の整備を推進します。
- 京都南ジャンクション（仮称）の整備や、京都市と大津方面ならびに亀岡方面を結ぶ道路ネットワーク（ダブルルート化）の充実・強化の実現に向け、京都の将来を見据えた広域的な道路交通網の構築に取り組みます。
- 日本海側拠点港である「京都舞鶴港」について、ポストコロナ禍に向けた国際フェリー機能や国際海上コンテナ機能、外航クルーズ機能の強化等のための港湾整備を進めます。
- 京都府北部のLNG基地・ガスパイプラインの整備や、水素の利活用等によるエコ・エネルギーポート化を進め、日本海側におけるエネルギー拠点の整備を推進します。
- 堀川通の機能強化（バイパス整備等）や鴨川東岸線の整備促進により、京都市内南北方向の道路交通のボトルネックによる渋滞の解消に取り組みます。
- 地域の活力あるまちづくりのため、交通利便性の高い市街地に所在する国有地の有効活用に取り組みます。
- 無電柱化を推進し、歴史的町並みの保全や都市災害の防止と安全性・快適性の向上を目指します。
- 生活環境の保全や防災、活力ある地域づくりなどの観点から、空き家や所有者不明不動産の利活用と適正な管理に向けた実効性ある対策に取り組みます。
- 災害等から生命・財産を守る河川整備、橋りょうや上下水道施設の耐震化・老朽化対策等、社会基盤整備の戦略的・計画的促進を図ります。
- 公共交通における一層の利便性向上と利用促進、経営の安定化を図るとともに、自動運転やAI等の新技術を活用した新たな移動サービスの検討と「MaaS」の推進に向けた環境整備に取り組みます。
※ MaaS：(Mobility as a Service) 多様な交通網の有機的検索・予約・決済等、一括で利便性を図る新システム
- 高齢化社会で高まる物流・配達需要における人手不足問題、働き方改革、道路交通・安全・環境・配送網の効率性問題等々に取り組みます。



4 京都の海・山・里を守ります

農林水産業

- 農林漁業の知的財産戦略を確立・実践し付加価値の増大を図るとともに、京都府オリジナル米の京式部をはじめ京野菜や丹後とり貝、間人ガニ・舞鶴かに、宇治茶や京都肉等の高収益ブランド製品の輸出を含む流通促進の仕組みを構築します。
- 「海の京都」構想におけるブランド化と観光の連携を含めた漁業振興をしっかりと位置付け、内水面漁業（河川への種苗放流等）とともに、府域の漁業を振興します。
- 農業の中核的な担い手の育成に向けて、農地の集積・規模拡大とスマート農業の導入などで生産性を向上し競争力を強化するとともに、中山間地域における直接支払制度の着実な実施や、都市・農村交流の促進、半農半Xも含めた多様な担い手の育成・確保・支援に努めます。同時に、自然・文化を継承する持続可能な集落機能を多様な側面からしっかりと支えます。
- 都市部においても「農」のある暮らしを提案するため、農業体験農園や市民農園などの開設を進め、府民参加型農業の推進により、環境保全型農業の重要性を啓発するとともに、農福連携を含めた府民の健康増進や情操教育等に役立てます。

- 生産緑地においては、京野菜を中心とした園芸振興を促進し、農業関係団体や地域住民団体とともに農業関連施設等を保全する取り組みを進め、都市農業の振興を図ります。
- 林業分野での広域管理による生産性の向上を目指すとともに、森林環境譲与税や森林経営管理制度を活用した取り組み、木質バイオマス発電の推進、各種建築物への利用拡大など、府内産木材の地産地消や流通促進をはかります。
- 施業路（林道）の整備や高機能林業機械の導入促進等により、林業の担い手育成と収益力の向上を図ります。また、採算性では不利な奥地林等についても、水源涵養・防災対策の観点から、着実に整備を進めます。
- 農林業者の生産意欲を減退させる有害鳥獣被害については、被害の未然防止のための調査・研究や近隣府県との連携、捕獲鳥獣の地域資源活用等も含め、幅広い対策を推進します。
- 農林水産物の地産地消を更に進めるとともに、農商工連携による生産物のブランド力向上・流通拡大を目的とした農林水産業の6次産業化を推進します。

5 豊かな心と確かな学力を育む

- 児童生徒一人ひとりの学力の定着・向上と、超スマート社会(Society5.0)等の新たな時代に必要となる資質・能力の育成のために、少人数教育の推進やICT環境の整備促進等、教育環境の充実を図るとともに、課題解決能力の向上に取り組めます。
- 自他を尊重し思いやる心を育む道徳教育、「いじめ」や「薬物乱用」等の未然防止の徹底、地域防災拠点としての学校施設の機能強化、ブロック塀などの改修を含めた通学路の安全対策、熱中症予防をはじめとする教育活動での安全対策など、安心安全な学校づくりを進めます。
- 古典や京都の豊かな文化遺産を次世代に維持継承していくための保存・活用の推進に取り組むとともに、文化遺産や地域の教育資源等を活かし、郷土愛を育む伝統文化教育を推進します。
- グローバル社会に対応できる人材を育成するため、子ども達の海外留学や外国語教育を推進するとともに、環境教育や主権者教育をはじめとしたESD(持続可能な発展のための教育)を進めます。

- 学びのまち京都として、新たな教育課題への対応や先進的な研究を更に進めるための教育環境の充実を図るとともに、人生100年時代に誰もがいつでも生き生きと学び続けることのできるまちづくりを進めます。
- スポーツ施設の整備を進め、世界で活躍できるトップアスリートの育成など、競技スポーツの強化と生涯スポーツの推進、スポーツによる地域や経済の活性化を図ります。
- 支援が必要な子どもや困りを抱える子どもの一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残すことなく個性を伸ばすための特別支援教育を充実するとともに、ヤングケアラーやひきこもりの未然防止のための環境整備を進めます。
- 日本一の子ども教育・保育を維持推進するとともに、支援が必要な家庭の子どものための奨学金制度の充実を図ります。
- 教職員が児童生徒としっかりと向き合う時間の確保や、教育環境の充実を図り、学校現場の働き方改革を推進します。

- 医師や看護師等医療従事者の確保・育成・定着を促進して偏在の解消を進め、赤ちゃんから高齢者まで、どの地域に住んでも安心して医療にかかることができる体制をつくります。
- 高齢者が安心して地域で生活できるよう、「京都式地域包括ケア」を推進するとともに、介護予防・認知症予防の取り組みを強化します。
- がん検診をはじめとする各種健康診断を推進し、健康増進と病気の予防・早期発見・早期治療をはかり、健康寿命日本一を目指します。

- 児童虐待や貧困をはじめ、支援の必要な家庭への施策を強化し、安心して健やかに成長できる環境づくりを進めます。
- 出会い・結婚から妊娠・出産、子育て、教育、就労に至るまで、切れ目のない支援を総合的に行います。
- 保育士・幼稚園教諭・保育教諭等の確保とともに、待機児童の解消や食材費の負担軽減の拡充など、子育てしやすい環境づくりをさらに進めます。
- 障害がある人もない人も、それぞれがもつ能力を存分に発揮し、その人らしく人生・生活を送ることができる社会の創造を目指します。

- 関西広域連合と連携した災害対応・応援体制の構築、広域防災拠点の整備促進、災害医療体制の整備、災害等ボランティア活動の推進をはじめ、東日本大震災・熊本地震・大阪府北部地震や西日本豪雨などの過去の災害を教訓として、複合・広域災害に対応した地域防災計画の見直しを着実に進め、住民ぐるみで取り組む地域防災力の向上と大規模・複合・広域災害対策を進めます。
- 台風、地震、豪雨、土砂災害、倒木、停電など、近年頻発する災害や、予想される南海トラフ巨大地震等に備え、緊急輸送道路の防災対策や河川の整備・改修、内水氾濫対策や市街地における浸水対策、河川管理施設の老朽化対策等々を進めるとともに、被害に遭われた方々に寄り添った支援を進めます。
- 病院などの医療・福祉関係施設や学校などの教育関連施設ほか構造物の耐震化等ハード整備を優先的に進めるとともに、減災のための啓発活動、一般住宅の耐震・対災害改修の促進を図ります。

- 原子力災害への対応体制の充実や、避難路・放射線防護施設等の整備などに対する国費の投入、ならびに放射線モニタリングの継続を強化します。
- 警察力の強化(平安なでしこ交番をはじめとする交番の充実と地域巡回)や地域ボランティアの育成、予測型犯罪防御システムを活用した情報提供などにより、さらなる地域の安全・安心の向上を図ります。
- 「交通事故のない社会」の実現に向け、地域・学校・幼保施設や警察、各種行政機関や自動車メーカー、安全対策事業者、企業等々との綿密な連携をはかり、通園・通学路の安全対策をはじめとする、子どもたちからご年配の方までの全ての府民の安全・安心対策をさらに高めます。

